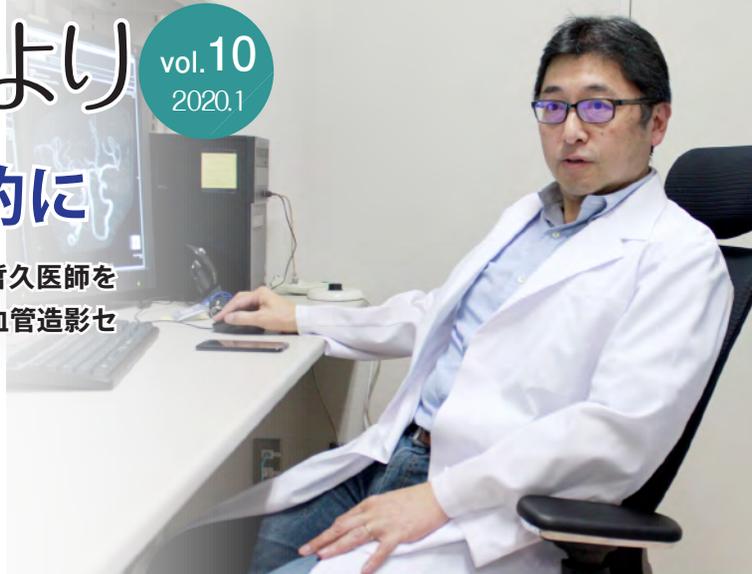


地域医療連携だより

vol.10
2020.1

医師3人体制！IVRも積極的に

京都岡本記念病院は2020年1月、放射線科の主任部長に新田哲久医師を迎えました。画像診断全般に加え IVR(画像下治療)が専門で、血管造影センター長も兼務する新田医師にインタビューしました。



京都岡本記念病院 放射線科

主任部長 血管造影センター長 兼務 新田哲久

—画像診断の経験は。

新田 滋賀医大を卒業してからですから30年以上になります。画像診断にはX線のほかCTやMRIなどの機器を使います。かつては1検査で可能な撮影は特定(例えば胸部)の1部位に限られましたが、昨今の機器の進歩により、今では胸から骨盤までを一度に撮影できるので1人につき数百枚の画像を読み取ります。機器の能力は高くなっており、がんなどを早期発見する確率も高くなってきました。重要所見については口頭での説明も可能ですのでご相談ください。

—IVRと内視鏡手術の違いは。

新田 IVRはX線透視や超音波、CTなどの画像を見ながらカテーテルや針を使って行う治療で、大きく分けて血管造影手技に基づく血管系とそれ以外(非血管系)に分けられます。体内の状態をリアルタイムで確認しながら病変部の治療を行うことができます。内視鏡手術では、カメラでは到達できない部分がありますが、IVRは死角がないので動脈瘤の塞栓、肝がんの治療、膿瘍ドレナージなどさまざまな疾病に対応できます。

—IVRのメリットは。

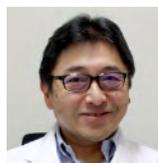
新田 全身麻酔をする外科手術に対し、局所麻酔で行いますので、低侵襲で治療後の患者さんの体力消耗が少なく、入院期間を短縮できます。また、高い解像度の画像や最新の治療器具を用いてピンポイントの操作が可能なので、がんの局所治療だけでなく、がん細胞を採取するCT下生検にも有効です。

—京都岡本記念病院での抱負は。

新田 常勤の私が加わり3人体制になるので、より迅速に検査依頼に対応できるようになります。CTは検査優先で運用しますが、IVRも積極的に実施していきたいと思っています。患者さんにはこれからも、清潔で広い検査室で画像検査を快適に受けていただけるようスタッフ一同心がけていきますので、安心してご依頼、ご紹介ください。

京都岡本記念病院 放射線科

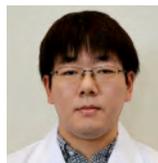
新着任



主任部長
血管造影センター長 兼務
新田 哲久 につた のりひさ
滋賀医科大学卒(平成1年)
医学博士
滋賀医科大学 非常勤講師
日本医学放射線学会認定放射線診断専門医
日本消化器内視鏡学会認定専門医
日本 IVR 学会認定専門医 / 代議員
臨床研修指導医
<専門分野>
胸部画像診断
IVR (Interventional Radiology)



部長
外山 哲也 とやま てつや
京都府立医科大学卒(平成8年)
日本医学放射線学会認定放射線診断専門医
日本 IVR 学会認定専門医
日本消化器病学会認定専門医
日本肝臓学会認定肝臓専門医
日本内科学会認定内科医
日本核医学会認定 PET 核医学認定医



医員
永野 冬樹 ながの ふゆき
山口大学卒(平成26年)
日本医学放射線学会認定放射線科専門医

常勤医師が3人体制となり、より迅速で正確な対応ができます。

IVRのご依頼・ご相談はまず連携室までご連絡ください。

ご紹介患者の待ち時間短縮となる、予約サービスを行っております。あらかじめ情報をご提供いただくことで、患者さんのスムーズな受診となります。ぜひご利用ください。

地域医療連携室 TEL 0774-46-5981(直通) FAX 0774-46-7835(直通)



社会医療法人岡本病院(財団)

京都岡本記念病院

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山西ノ口100番地